

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
612 遠距離通学児童生徒に対する助成事業

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
基本方針	5	学習環境の充実

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	林 素秀	(435-1139)
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
事項	遠距離通学児童生徒対策事業 (学校教育課)			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容			
	<ul style="list-style-type: none"> 遠距離通学となる生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。 毛見トンネル以南の児童生徒の通学の安全確保を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 和歌山市滝畑に住所を有する生徒が、通学のため利用する交通機関の運賃相当額（半年定期2回分）を交付する。 毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託する。 			
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託。	通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託。	通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託。	通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託。	通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	4,498	4,140	3,885	3,556	3,288		3,288		3,288		
	伸び率 (%)	-	-	-13.6%		-15.4%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	1,011	1,089	1,089	1,055	1,055		1,055		1,055	
		非常勤職員										
		小計	1,011	1,089	1,089	1,055	1,055		1,055		1,055	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
一般財源 (税等)	4,498	4,140	3,885	3,556	3,288		3,288		3,288			
所要人数	常勤職員	0.14	0.15	0.15	0.14	0.14		0.14		0.14		
	非常勤職員											
主な予算内訳		教育事務委託料 3,256千円、通学費交付金 32千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	児童・生徒利用者数	年度目標値								
		実績値			44	38				
	単位	人	全体目標値							
			全体目標達成度							
	年度別達成度	年度目標値								
実績値										
成果指標	通学途中の事故件数				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	年度目標値	0			0	0	0	0	0	
		実績値			0	0				
	単位	件	全体目標値			0				
			全体目標達成度							
	年度別達成度	年度目標値								
実績値										
単位		全体目標値		全体目標達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>へき地における遠距離児童生徒は徒歩通学が困難であり、公共交通機関による旅客運賃相当額を交付することは費用対効果が図れると考えられる。</p> <p>毛見トンネル以南の児童生徒の海南市委託は今までの経緯、在校生が40人程度いることからそのまま継続することが望ましい。</p>
「見直し」「改善」案	<p>毛見トンネル以南の児童生徒は減少しており、和歌山市の小中学校を希望する児童生徒がいる現状を踏まえ、見直しを含め検討していきたい。</p>